

日本の雑煮あれこれ②

日本全国の様々な雑煮の紹介の続編です。（府県名は省略）

大阪はあきない雑煮。商人の町らしい「商い」と「飽きない」をかけています。元旦は白味噌ベース、二日はすまし仕立てに水菜の雑煮。奈良は甘い白味噌ベイスで煮た丸餅を取り出してきた粉に絡める。きな粉の黄色は「豊作」を意味している。鳥取は小豆が邪気を払うので甘いぜんざいタイプの雑煮。この雑煮は山陰地域以外でも島しょ部等で全国的に点在。広島は尾道、三原等のアナゴ、宮島のブリ、ハマグリ雑煮。その他は力キ雑煮。牡蠣は「賀来」として福をかき寄せる

縁起もの。香川は白味噌の汁にあんころ餅が入った雑煮。福岡は博多地域の三種の神器のゴブリ、かつお菜、あごだし、出世魚のブリは嫁ブリといって嫁の里帰りにブリを持たせる習慣がある。伝統野菜の「かつお菜」は雑煮に不可欠。長崎の島原地域では一年中雑煮が食べられる。お鍋のような具沢山の雑煮は食べ応え満点。鹿児島は焼き海老で出し汁をとる雑煮。九州は丸餅文化圏だが島津の殿様が江戸から持ち帰った切り餅を食べる。雑煮は各地域の特色が色濃く出ている正月の料理。全国の食べ方は様々でびっくりですが、各家庭で食べる雑煮が普通と考えますがその普通がとても個性的だとよく分かりました。

○語彙力チェック

①次の文の空欄に適切な言葉を入れよ
前の職場ではずいぶん（ ）を食わされた。

A 皮肉 B 冷や水 C 冷や飯 D 一杯

②大正時代にヒューマニズム（人道主義）を主張したグループは何と呼ばれているか。

A 余裕派 B 白樺派 C 耽美派

③「豹変（ひょうへん）する」の意味としてどれが正しいか。

A 態度ががらりと変わる。

B 豹が成長変化する。

C 目まぐるしく移り変わる。

④「表面に現れているのは、ほんの一部分に過ぎない」という現象の例えは次のどれか。

A 氷山の一角 B 大山の一峰

C 大海の小舟

⑤「姿・形に現れたもの」という意味のヒョウショウはどう書くか。

A 表彰 B 表象 C 表像

（解答）①C ②B ③A ④A ⑤B